

県立学校施設整備事業

高校教育課
高校再編推進室
特別支援教育課

1 事業目的

高校再編校と老朽化する特別支援学校について、これからの学びに相応しい「学習空間デザイン」や「ZEB化」の視点を大切にした学校整備を行う。

<p>小諸新校</p>	<p>■統合内容 小諸商業高校と小諸高校を統合 → 小諸商業高校の校地を活用 ■新たな学びのイメージ 両校が築いてきたこれまでの学びを通し、「地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する3科融合校」を構想</p>
<p>伊那新校</p>	<p>■統合内容 伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校を統合 → 伊那北高校の校地を活用 ■新たな学びのイメージ 地域と大学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する、「自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校」を構想</p>
<p>松本養護学校</p>	<p>■整備概要 老朽化及び狭隘化を解消するため一部改築、一部改修 ■新たな学び実現のための整備例 地域の方との日常的な交流や作業学習等のさらなる充実につながる地域交流スペース。児童生徒の障がい特性や状況に応じた多様な室（クールダウン室・個別学習室等）。</p>
<p>若槻養護学校</p>	<p>■整備概要 老朽化及び狭隘化を解消するため全面改築 ■新たな学び実現のための整備例 児童生徒が障がいの状態に応じて居場所や学び方を選択できる小空間（クールダウン室）など多様な居場所。作品展示や交流を通して社会とつながる場としての「地域交流ギャラリー」。</p>

2 事業内容・スケジュール案

令和4年度から実施しているNSDプロジェクト※の取組を踏まえ次のとおり実施する。

※NSD(長野スクールデザイン)プロジェクトの特徴

- ・学校的设计・デザインと、これからの学びを一体的に検討して、学校を構成する空間(学習・生活・執務・共創の4空間)機能を高めたり、ZEB化等を推進したりするもの。
- ・施設基本計画の検討段階から、設計者や保護者など学校関係者も参画することで、最適な学校づくりに向けた丁寧な検討を行い、新しい学校づくりへの理解を醸成。

【高等学校新校】

- ・小諸新校、伊那新校の実施設計
- ・小諸新校の整備に向けた既存体育館等の除却工事

●：開校時期等

新校	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
小諸新校		基本計画	基本設計・実施設計	工事	●		
伊那新校		基本計画	基本設計・実施設計		工事		●

【特別支援学校】

- ・松本養護学校と若槻養護学校について、令和5年9月補正で計上した施設改築に係る基本設計、実施設計及び地盤調査について、引き続き実施
- ・松本養護学校について、旧職員住宅等の解体及び工事に伴い無くなる職員駐車場（一部）やスクールバス駐車場所の校外敷地における賃借

● : しゅん工時期

学校	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
松本養護	基本計画	基本設計・実施設計 測量・地盤調査	工事（新築、既存棟） ← 一部仮設対応 →			外構・仮設撤去等 ●	
若槻養護	基本計画	基本設計・実施設計 測量・地盤調査	工事（新築） ← 仮設校舎は隣接する東長野病院の敷地を借用し対応 → ●				

3 令和6年度予算額 8億2,945万4千円

（県立高校 3億7,958万8千円、特別支援学校 4億4,986万6千円）